

平成22年度障害者雇用職場改善好事例

平成22年度

優秀賞

コミュニケーションシステムの開発により在宅雇用を推進

株式会社 沖ワークウェル（東京都港区）

取り組みの紹介一覧

1. 在宅勤務の職場環境を改善
2. コミュニケーションシステムを自社開発

事業主の声

取締役社長 津田 貴 さん

在宅雇用の対象者は、通勤が困難＝下肢障害のある人とイメージされる方もおられますが、むしろ通勤が困難なのは車いすや自家用車の操作が難しい上肢障害のある人だと考えています。

また、上肢障害のために作業時間がかかる人でも仕事として成立するために、「ワークウェルコミュニケータ」を利用し、従業員のみならず顧客ともリアルタイムで打合せや説明を行うことで仕事の効率化を図ることができます。

在宅雇用の取り組み「ワークウェルコミュニケータ」の開発は、上肢に障害のある人のための取り組みであるといっても過言ではありません。



上肢障害者雇用の経緯

平成10年に事業所としては初めて重度身体障害者の在宅雇用制度を打ち立て、重度身体障害者の在宅勤務チーム「OKIネットワークワーカーズ」が発足。

在宅雇用に取り組むきっかけは、平成9年に社会貢献活動事業としてWebコンテンツ制作をある社会福祉法人を通して障害のある人に発注した。請け負ったのが脊髄損傷により首から上しか動かない重度障害のある人であったことから、重度障害があってもパソコンを使用すれば仕事ができることを認識したことであった。

当初はホームページの制作を職務とする3名の雇用から開始した。グループ内企業もこの雇用制度を採用し、平成16年になお一層の障害者雇用を図るため、各社のOKIネットワークワーカーズを集約し、株式会社沖ワークウェルが設立された。

採用の経路については、宮崎県の社会福祉法人が実施する「宮崎県障がい者在宅就業者育成研修」

（年間10数名）の修了者に対して数ヶ月のインターンシップを通じて採用するか、求職者から直接申込みを受けている。今年度は3名を採用した。従業員のうち1割ほどはOKIグループ内で障害を負った人を登用している。このようなケースが近年増えてきている。

障害者の在宅雇用で難しいのは仕事の平準化である。仕事が少ない、あるいは無いと従業員はつまらなくなってしまい、多すぎると身体を壊して辞めてしまう。従来はコーディネータが在宅勤務者の業務量を調整する役割を担っていたが、仕事の量や在宅勤務者が増えてきたため、在宅勤務者の中で取りまとめ能力のある従業員をディレクタに任命し、コーディネータの調整の下で管理業務を行う仕組みを作った。

なお在宅雇用の就業規則については、他事業所からの問い合わせも多く、10月にホームページ上で「在宅勤務制度の紹介」を公開した。

(<http://www.okiworkwel.co.jp/system/>)

事業所の概要

平成16年4月に沖電気工業株式会社の子会社として設立。同年5月に特例子会社の認定とともに、OKIグループ4社障害者雇用率制度を同一の事業主として取り扱うことについての認定を受ける。

重度障害者のテレワーク(在宅勤務)を中心に障害者(チャレンジド)雇用を専門に行う日本初の特例子会社である。OKIグループのCSRの取り組みの一つとして、現在36名の高度なITスキルを持つ重度障害者が自宅でパソコンとインターネットを使用しながら、アクセシビリティを考慮したホームページの作成、ポスターデザイン等を行っている。

主な事業内容

- ホームページ作成等Web関連業務、●ポスターデザイン、●パソコン作業全般、●名刺作成、●障害者在宅雇用コンサルテーション

上肢障害者雇用状況

■ 従業員数 **55名** (平成23年1月21日時点)
 上肢障害者雇用数…………… **35名**

改善策

1

在宅勤務の職場環境を改善

職場改善

ポイント

デザイン作成等

作業内容



課題点

通勤が困難な重度障害者を在宅で雇用する取り組みを進めてきたなかで、勤務で活用していたスカイプ(インターネット電話サービス。一般の電話との相互通話が可能)がセキュリティ管理上、使用できなくなる事態が発生した。



改善内容

在宅勤務職場の改善として「職場がおうちへやってきた」プロジェクトを開始した。家においても「**あたかも会社**に**いて仕事をしている**」**状況を作り出す**ため、テレワークツールと仕事の仕方の改善を計画した。

取り組みの内容として、**イントラネット上の業務管理システムの画面に、従業員の出勤在席状況や仕事の繁忙状況、年休・通院・ヘルパー受け入れ等といった連絡事項を表示**できるようにした。在宅勤務者からは、朝の業務開始時に挨拶メール(出社)、夕方の業務終了時に終了メールを業務管理システムの画面を通じて従業員全員に送信するルールとなっている。

また、在宅勤務による孤独感を軽減するため、グループウェアとWebカメラを使用し、**事務所のライブ風景や業務管理を行うコーディネータの在席状況、またユーザー打合せで顧客の顔を自宅のパソコン画面に映し出せる**ようにした。

従業員の声

新原 弘一さん



私は現在、鹿児島市の自宅でポスターやパンフレット、ホームページのデザインの作成に従事しています。6年前にインターネットで「在宅勤務」で検索し、OKIワークウェルを知り就職することができました。

「ワークウェルコミュニケータ」を使うことで、他の在宅勤務の従業員との会議もできるほか、他の従業員同士のやりとりが聞こえることで職場で仕事をしているように感じることができます。

身体の都合が許す限り勤務を続け、できれば定年まで勤務したいと思っています。



改善策

2

コミュニケーションシステムを
自社開発

改善内容

「職場がおうちへやってきた」プロジェクトとして、平成18年から平成20年にかけて「ワークウェルコミュニケーター」という多地点音声コミュニケーションシステムを自社開発した。

このシステムにより、在宅勤務者もいつでも自由にメンバーを集めてチーム・ミーティングができることや、常時接続されているため、ワイワイ、ガヤガヤといった雰囲気生まれ、職場で仕事をしているような臨場感を感じることができるようになった。

このシステムを開発するにあたって、頸椎損傷や筋疾患等により上肢に障害のある従業員はキーボード入力や電話の受話器を握るといった動作に困難が伴うことを考慮する必要があった。このような上肢に障害のある従業員の負担の軽減を図るため、ワンタッチの操作でアクセスできる機能をシステムに組み込み、迅速な意思決定や情報共有、効果的なOJTを行うことにより、多数の上肢に障害を有する従業員を雇用することが可能となった。



ワークウェルコミュニケーター用の機器一式
(左から)マイク、パソコン、テンキー



ワークウェルコミュニケーターのシステムイメージ

ワークウェルコミュニケーターの操作画面



ワークウェルコミュニケーターの操作について

マイクのマークをクリックすると音声を伝達することが可能。クリックするマーク配置のレイアウトはテンキーのボタンに対応しているので、マウス操作が困難な従業員はテンキーにより入力することができる。実際、箸や鼻でキー入力し、トラックボールを顎を動かしてマウス操作する従業員が多い。

なお、株式会社沖ワークウェルの在宅就業の取り組みは、「障害者の在宅就業支援ホームページ(チャレンジホームオフィス)」でも紹介しています。

(https://www.challenge.jeedgo.jp/exp/exp_web_1.html)

コミュニケーション

ポイント

Web制作

作業内容

土屋竜一さんは、外付けのタッチパッドを使い、僅かな手の可動域により小指でパソコン操作している。また、気管障害があり発声が困難なので、日常よく使用する台詞をコンピュータに登録しマウスでクリックすると該当の台詞が読まれる機能（自動発声機能）を使用している。下の写真で土屋さんは菜箸を持っているが、これは手のバランスを取るためのものであり、入力用ではない。



中村亜矢子さんは、手によるキーボード入力が困難なため、トラックボールを立て、顎でボールを回すことによりマウス操作を行っている。



改善の効果

これらの改善により、以下の効果が見られている。

- ① コーディネータの負荷が軽減された
- ② 仕事の効率とスピードが向上した
- ③ 顧客と在宅勤務者が直接打合せできるので、在宅勤務者のモチベーションや顧客からの信頼度が上がった
- ④ 在宅勤務者の就労状況が一覧で把握できるため、相互のやり取りがスムーズにできるようになった
- ⑤ 新入社員も打合せに参加することができるのでOJTが実現できる
- ⑥ コミュニケーションシステムを使用した勉強会が自発的に発足された
- ⑦ 「仲間と一緒に仕事をしている」雰囲気が在宅勤務者の孤独感を解消した
- ⑧ 本社と顧客の映像もフリーソフトにより見ることができ、孤独感の解消につながった
- ⑨ 業務効率化によりグループ会社の総務の業務を請け負うことができるようになった

コミュニケーションシステムを使用することで、在宅の従業員同士で打ち合わせができるだけでなく、客先においてもコーディネータがパソコンを持参することで、在宅の技術者である本人がその場で直接顧客とやりとりし質問に回答することができる。顧客からの宿題を持ち帰る手間が省ける分、効率的に仕事を進めることができる。

最優秀賞

優秀賞

奨励賞

支援ツール

応募状況

応募要項

入賞事業所一覧

支援制度